

「住用中学校の住用自然探検の取組」

1 学校名

奄美市立住用中学校

2 学年・人数

1年1組 4人

3 日時・場所

(1) 日時・場所

- 令和4年5月25日（水）、26日（木）

総合的な学習の時間に住用町の市集落や東城小中学校、住用中校区の史跡や自然を見学した。

- 令和4年6月6日（月）に各自学習をした内容のまとめを行った。

(2) 発表の日時・場所

- 11月5日（土）に住用中学校体育館で行われた学習発表会でそれぞれ学習したことを発表した。

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称

- 青久集落（あおくしゅうらく） 住家墓地 むちゃかなの碑
モダマ自生地 フナンギョの滝

(2) 特徴

むちゃかなの碑は江戸時代末期、喜界島出身の女性が島の女性に美しい容姿を妬まれ海に突き落とされた。その亡骸が青久に流れ着き住民が手厚くほうむったという言い伝えがある碑

住家墓地は17世紀から19世紀の初めまでこの地方で栄えた郷土格の一族の墓地

モダマ自生地は奄美大島で唯一東仲間集落に自生が認められ、希少なことから住用村指定文化財に指定され現在に至ります。

フナンギョの滝は川内集落の奥にある落差のある滝

5 地域との連携

1日目は、西仲間集落の山下さんの案内で市集落や青久集落，東城小中校区の史跡や自然を見学した。2日目は、自然写真家の常田さんから住用の自然について講話をしていただき，その後，マングローブの森を探索した。

6 活用の取組の工夫した点

発表する際には，電子黒板やプレゼンテーションソフトを活用し，写真やイラストを使い，見ている人が分かりやすい発表を心がけた。

7 取組の様子



「青久史跡めぐり」



「常田さんの講話の様子」

8 参加生徒・教職員の感想・意見

【生徒】

- ・ 自分が住んでいる地域の自然や史跡について勉強になった。
- ・ 発表に写真や説明を加えることで分かりやすい説明がみんなできるようになってきた。

【教員】

自分が住んでいる地域の史跡や自然に生徒たちは今まであまり関心をもっていなかったようだが，今回の学習をすることにより関心が高まったように感じた。

【地域の方から】

昔から伝わる地域の史跡や自然にふれる機会があることは，子どもたちにとって有意義なことである。世界自然遺産に奄美が登録された事を誇りに思い，観光客からの質問に答えられるようになってほしい。